

立命館大学理工学部 学生員 ○木澤 文貴

立命館大学理工学部 正会員 笹谷 康之

1. 背景と目的

総合計画は住民のまちづくり活動や、学校の総合学習において、最も重要な教材である。また、地方自治体は e-Japan 戦略を受け、地域情報化に取り組んでいる。そこで、自治体や地域において「eラーニング」の導入が期待されている。

本研究では、住民と中学生の地域 e ラーニングのために、滋賀県甲西町総合計画を事例に、総合計画 WBT サイトを構築し、その有効性を検証することを目的とする。

2. 研究の手法

本研究の手法は以下の通りである。

- ①大学の授業（講義名：環境情報システム、受講者は経営、経済、土木学科の2回生の計45名）を用いて、講義内容である初級シスアド資格を取得する目的を達成するためのWBTの利用度と学習効果、まちづくりをWBTで学ぶことに対する意識の両面から調査を行った。
- ②自治体の総合計画に関するWebサイトを調査した。
- ③甲西町住民アンケート集計結果の分析に基づき、甲西町総合計画WBTを構築した。
- ④構築された総合計画WBTの学習効果の測定と、まちづくりへの有効性を検証するために、オンラインアンケート調査を行った。アンケート回収件数は17件であった。

3. WBT・eラーニング

初級シスアドのWBTの利用者は33%であった。（図1）この結果は、三和総研が2001年8月に実施したWBTの利用に関する調査結果が15%であったこと¹⁾と比べると、多くの人が利用したことになる。利用した17人中、かなり効果があった・効果あったと答えた人の割合は、合計67%と高かった。（図2）

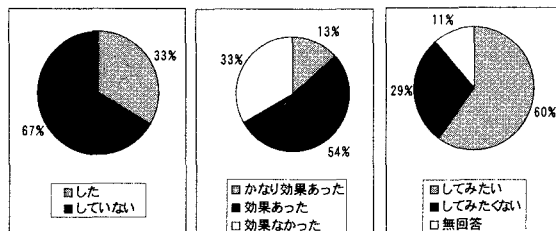


図1. シスアド WBT 利用

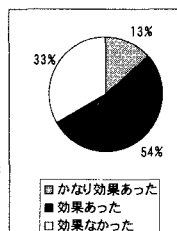


図2. WBT の効果

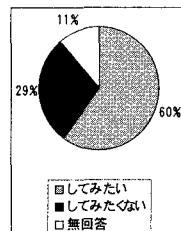


図3. WBT を利用した まちづくり学習への関心

まちづくり学習に関して、WBT を利用してみたいと答えた人が全体の60%と高かった。（図3）理由としては、総合計画や都市計画マスタープランなどの計画書を理解したいからと答えた人が44%と一番多かった。（図4）

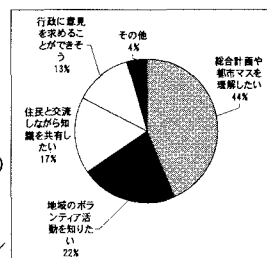


図4. まちづくり学習の理由

学ぶことに馴れている大学生であっても、総合計画などの自治体計画は理解しづらいものであると考えられる。一般の住民や、未来のまちづくりの主役である中学生は、大学生以上に総合計画は理解しにくいと考えられる。そこで、総合計画を、わかりやすく理解することのできるWBTが期待できる。

4. 総合計画 Web サイト調査

調査を実施したところ、自治体における総合計画に関するWebサイトは、基本構想・基本計画のテキスト形式、もしくはPDF形式による掲載のみが大半であり、一般の人々に読みやすいものではない。

（図5）Web調査の結果、工夫を凝らしていた自治体は三重県であった。

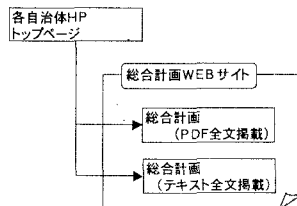


図5. 一般的な総合 Web サイト

＜三重県総合計画 Web サイト＞

三重県総合計画の Web サイトは「テキスト版」と「ビジュアル版」から構成されている。ビジュアル版は、住民アンケートなどから、まちづくりに対する意見や要望を反映し、総合計画が作られていることを、わかりやすく説明している。私たちのおもいから基本計画へ、自然と進むことのできる誘導的なサイト設計である。(図 6)

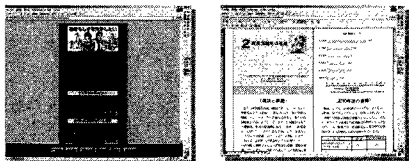


図 6. 私たちのおもいから基本計画へ

しかし、総合計画を住民に対して戦略的に学習させようと試みている自治体の総合計画 Web サイトは、存在していなかった。

5. 甲西町総合計画 WBT 構築

- ① 住民アンケート結果より中学生の興味・関心の強い項目は、情報、芸術・趣味、スポーツであった。(図 7) によって、甲西町総合計画 WBT サイトでは、興味・関心のあるテーマを中心にサイトコンテンツを設計した。

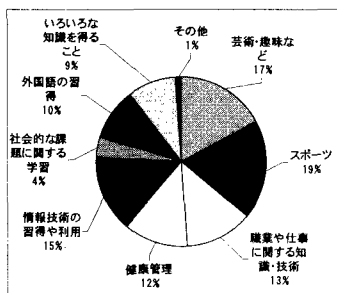


図 7. 中学生の興味・関心

- ② 中学生と一般用の入口を用意し、中学生の入口からは、興味・関心から構成した、クイズを中心に学びながら、総合計画が理解できるようにした。総合計画の学習から、まちづくり会議への参加につながるように設計した。住民アンケートの結果と基本計画をリンクさせ、基本計画がアンケート結果を反映していることを、わかりやすく示した。(図 8)

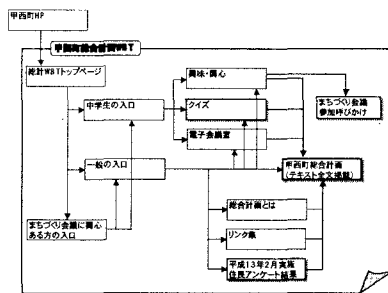


図 8. 甲西町総合計画 WBT サイト構成図

6. 甲西町総合計画 WBT サイト評価

利用者の全員が、総合計画 WBT サイトで総合計画が理解できたと答えた。(図 9) 総合計画への興味・関心を持った人は 94% であった。(図 10) また、41% の利用者に、まちづくり会議への参加を促した。(図 11) 以上のアンケート結果から、総合計画 WBT サイトは総合計画学習効果があり、総合計画(まちづくり)への住民参加を推進するツールとして有望なことが明らかとなった。

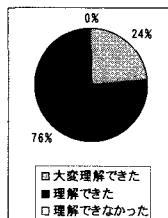


図 9. 総合計画の理解度

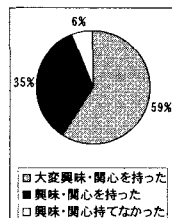


図 10. 総合計画への興味・関心

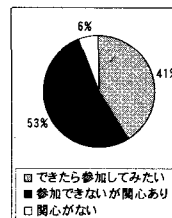


図 11. まちづくり会議への参加

7. 結論

本研究の成果を以下にまとめる。

- ① まちづくりを住民が学習する WBT の期待が大きいのことを示した。
- ② 住民アンケートに基づく住民の意見や要望を反映した総合計画 Web サイトは、住民が理解しやすいものである。
- ③ 甲西町総合計画を事例に、住民が理解しやすいように、e ラーニングの方針に基づいて総合計画 WBT サイトを構築した。
- ④ 総合計画 WBT は学習効果がった。WBT はまちづくりへのツールとして有望と考えられる。

参考資料 1)

最新インターネットニュース <http://japan.internet.com/>